

I 第11週の発生動向 (2009/3/9~2009/3/15)

- インフルエンザについては、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。八戸、五所川原保健所管内においては**注意報**が続いています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、八戸保健所管内において新たに、弘前、上十三保健所においては、引き続き**警報**が発令されています。

II 第11週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数								
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	数	数	数	数		
(85) インフルエンザ	115	8.21	143	9.53	200	14.29	108	15.43	138	15.33	32	5.33	736	11.32	89	19	9.50	96	8.00									
(74) RSウイルス感染症					1	0.11							1	0.02	-1													
(75) 咽頭結膜熱					1	0.11					5	1.25	6	0.14	-5													
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.11	34	3.78	37	4.11	8	1.60	29	4.83	6	1.50	133	3.17	34	1	1.00	18	2.25									
(77) 感染性胃腸炎	96	10.67	55	6.11	36	4.00	18	3.60	21	3.50	49	12.25	275	6.55	-21	9	9.00	87	10.88									
(78) 水痘	33	3.67	11	1.22	5	0.56	3	0.60	4	0.67	6	1.50	62	1.48	9	5	5.00	28	3.50									
(79) 手足口病	6	0.67							1	0.17	2	0.50	9	0.21	-7			6	0.75									
(80) 伝染性紅斑	2	0.22	1	0.11	6	0.67			1	0.17			10	0.24	2			2	0.25									
(81) 突発性発しん	9	1.00	1	0.11	3	0.33	1	0.20	1	0.17	4	1.00	19	0.45	1			9	1.13									
(82) 百日咳									1	0.17			1	0.02	1													
(83) ヘルパンギーナ															0													
(84) 流行性耳下腺炎	15	1.67			1	0.11	3	0.60			1	0.25	20	0.48	2			15	1.88									
(86) 急性出血性結膜炎															0													
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50			5	2.50	1	1.00	1	0.50			8	0.73	4			1	0.50									
(95) マイコプラズマ肺炎					6	6.00							6	1.00	3													

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

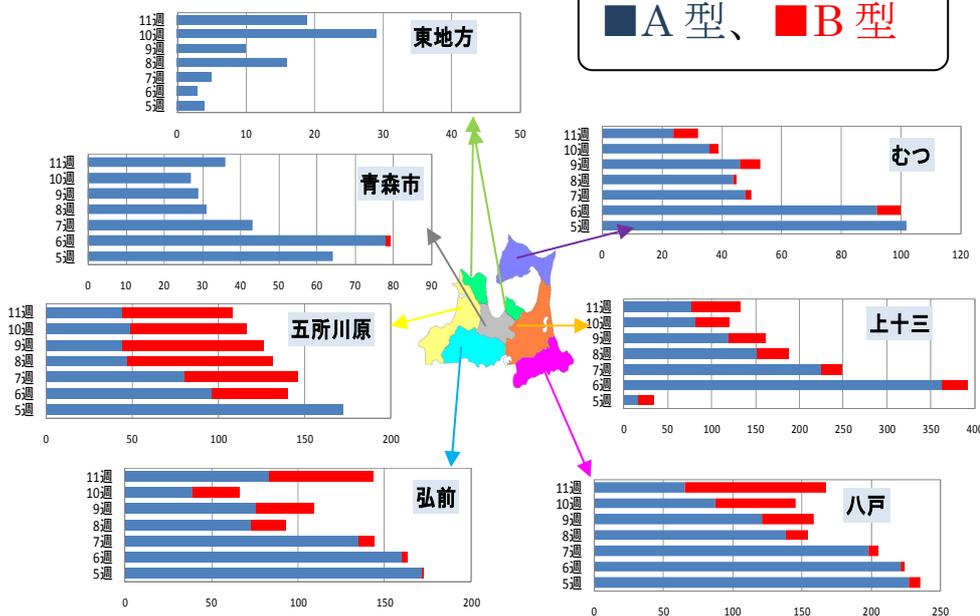
(9) 結核(二類全数把握疾患)：東地方1人、弘前3人、八戸2人、五所川原1人、青森市2人 (21年計：65人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の窓

インフルエンザ

■ A型、■ B型



青森県における今シーズンのインフルエンザは、A型が先行し、現在B型が検出されています。患者数は、第5週(1/28~2/3)から、減少傾向で推移していましたが、第11週に再び患者数の増加が見られています(次ページ図VI)。左図は、インフルエンザ定点のうち、迅速診断キットによる型別届出数の内訳です(不明は含まれず)。本疾患は、A型インフルエンザに感染、軽快後、B型インフルエンザに感染することもありますので、今後も感染予防対策を継続することが必要です。

図 迅速診断キットによるインフルエンザ型別数 保健所管内別 (第5週~第11週)

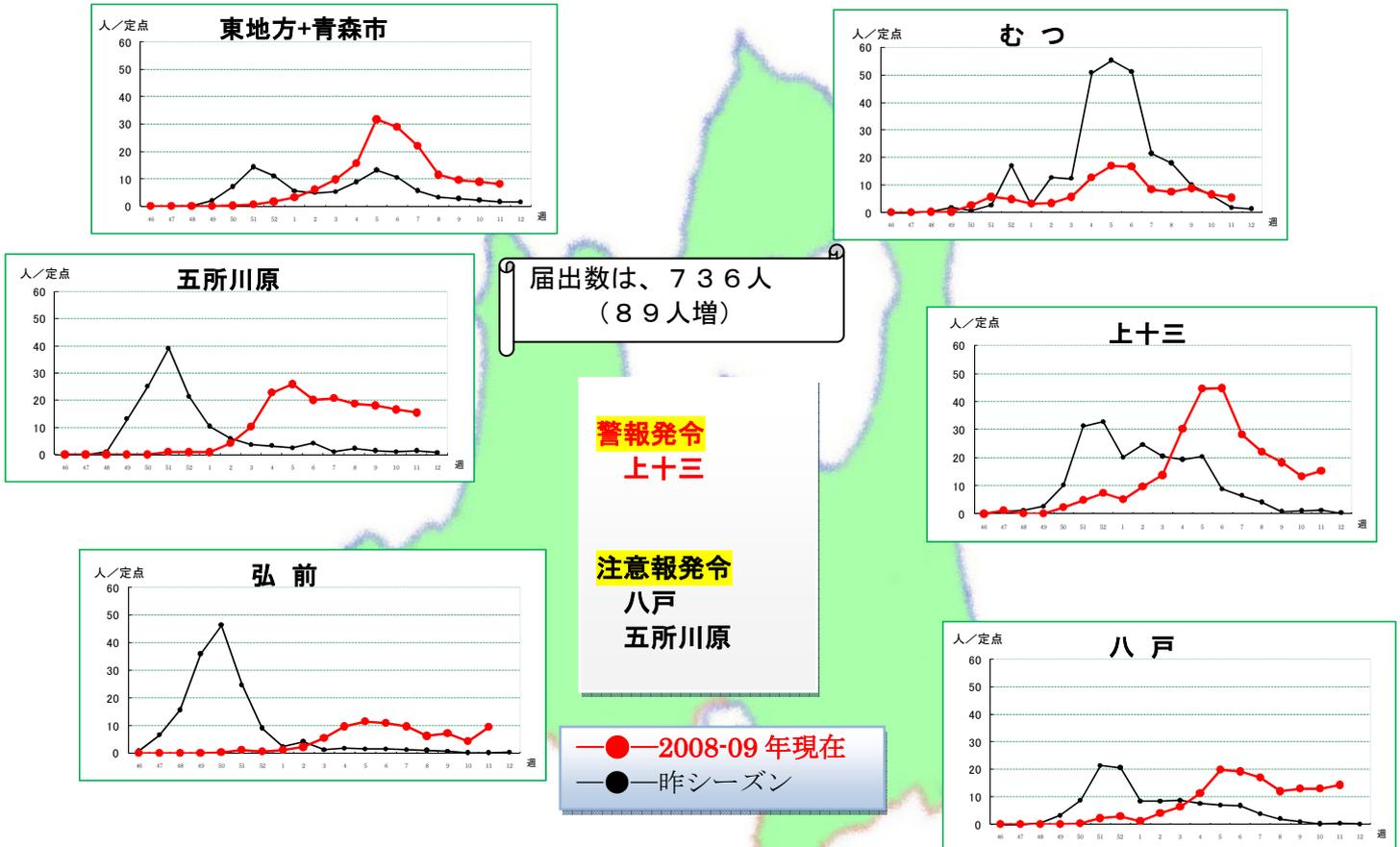
IV インフルエンザ情報 第11週 (3/9~3/15)

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。 () 内は、前週届出数です。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	19	143	200	108	138	32	96
A型	19	83	65	44	77	24	36
B型	0	60 (27)	102 (58)	64	55 (38)	8 (3)	0

A型が流行していますが、五所川原保健所管内ではB型の報告数の方が高い状態が続いており、弘前、八戸、上十三、むつ保健所管内においては、B型が増加、県全体の届出数も増加していることから他の地域においても注意が必要です。

V 保健所管内別届出数推移 *Adobe Readerは、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

VI 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 ☞ 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunva/kenkou/kekakaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html